

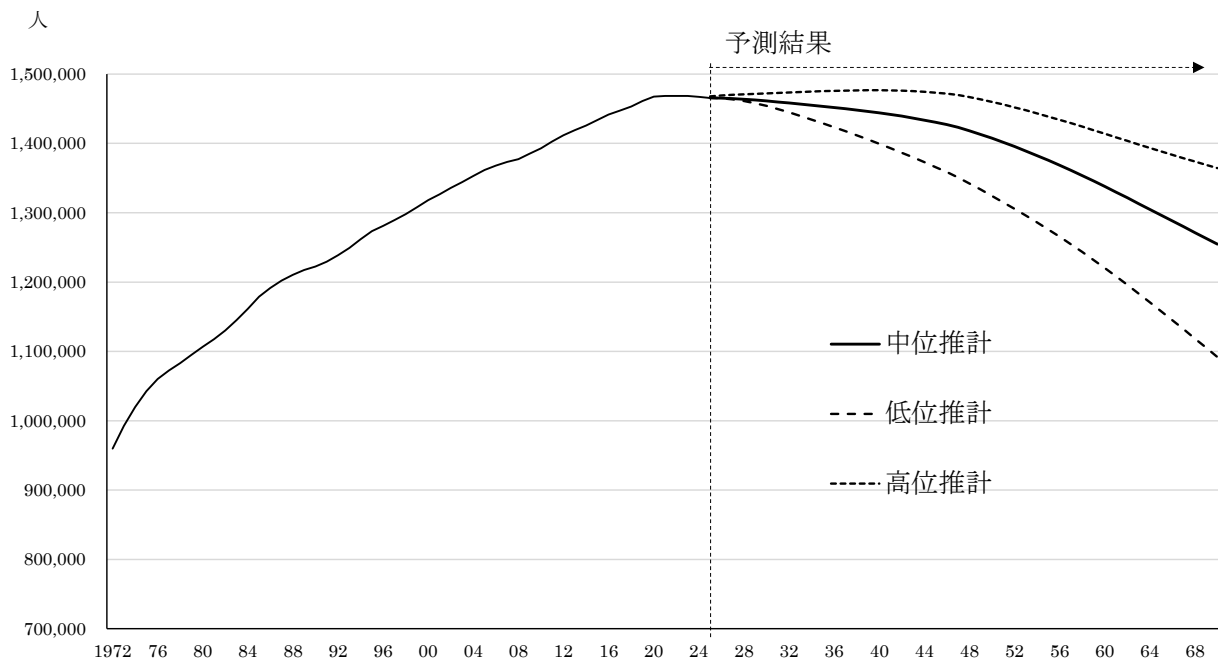
“南西地域のシンクタンク”

NANSEI SHOTO INDUSTRIAL ADVANCEMENT CENTER

〒900-0015 那覇市久茂地 3-15-9（アルテビル那覇 2F） 電話（098）861-2180

沖縄県におけるポスト・コロナの  
将来人口の長期予測

- ・県人口は、コロナ禍の影響により足元の人口が死亡増と出生減のため不安定になっている。
- ・この現状を踏まえた将来人口の予測は、2025年 1,465,825 人、2030年 1,461,388 人、2040年 1,444,297 人、2050年 1,407,611 人となった。
- ・高位推計では、2025年 1,466,535 人、2030年 1,466,248 人、2040年 1,459,622、2050年 1,422,738 人と見込まれる。



※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

- ・担当：奥平 okuhira-h@niac.or.jp  
問い合わせ先：電話 098-861-2180（ファクシミリ 098-869-0661）

報道各社

一般財団法人南西地域産業活性化センター（NIAC、ニアック）において、2025（令和7）年から2070（令和52）年までの「沖縄県におけるポスト・コロナにおける将来人口の長期予測」を取りまとめましたので、その結果についての概要を皆様に報告いたします。

一般財団法人南西地域産業活性化センター

会長 大嶺 満

## 沖縄県におけるポスト・コロナにおける将来人口の長期予測

### 結果の概要

国立社会保障・人口問題研究所による人口予測手法を踏襲し、コーホート要因法により沖縄県の2025年から2070年までの長期の将来人口を予測した。

まず、平均寿命の将来トレンドから各細別生命表死亡率を推計し、合計特殊出生率将来値を仮定、2015～20年の国勢調査各差別人口移動数より純移動率を求めた。以上の手法により、2025年以降の沖縄県の総人口を3つのケース想定によって予測した。足元のコロナ禍の影響があるため、予測の出発時点は直前の人口減少に左右され、伸びが弱いものとなっている。

中位推計と低位推計は2025年以降の人口は減少傾向で推移するが、高位推計は2025～39年まで増加し、2040年から減少に転じる。ただし、低位推計に比べて中位推計は2046年頃までは緩やかな減少で、それ以降は減少率が高くなる。これは高位推計も同じで、15～49歳女性の人口規模が縮小したことが影響している。

図1 沖縄県の人口推移とケース別将来予測結果(2025年以降)

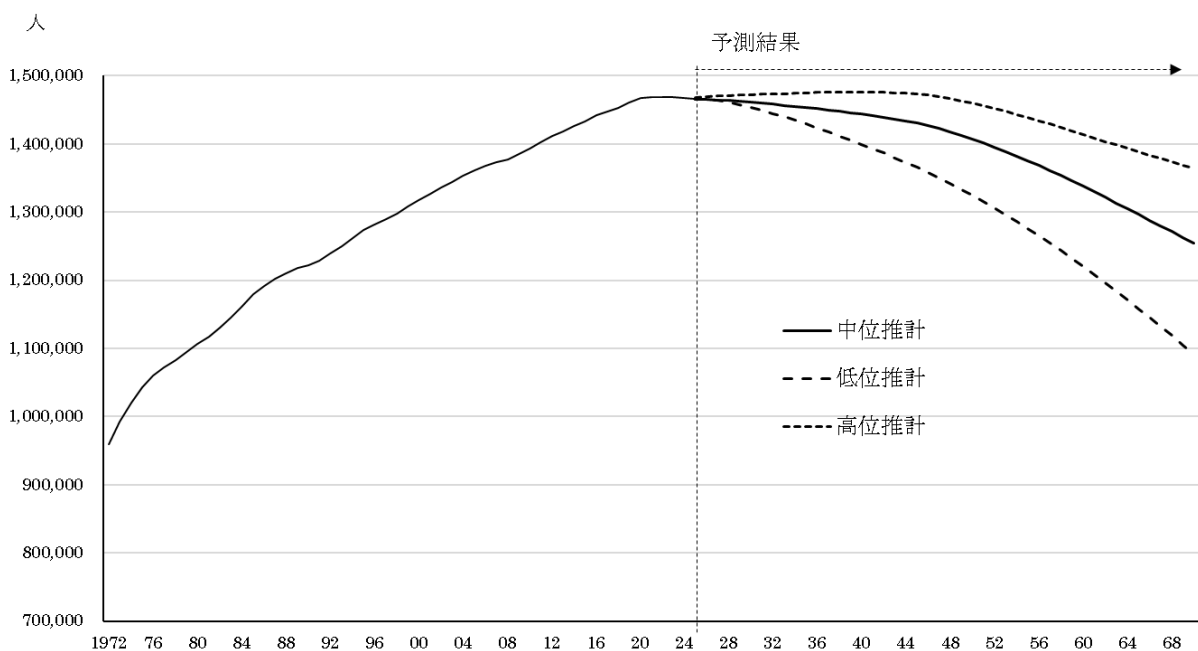
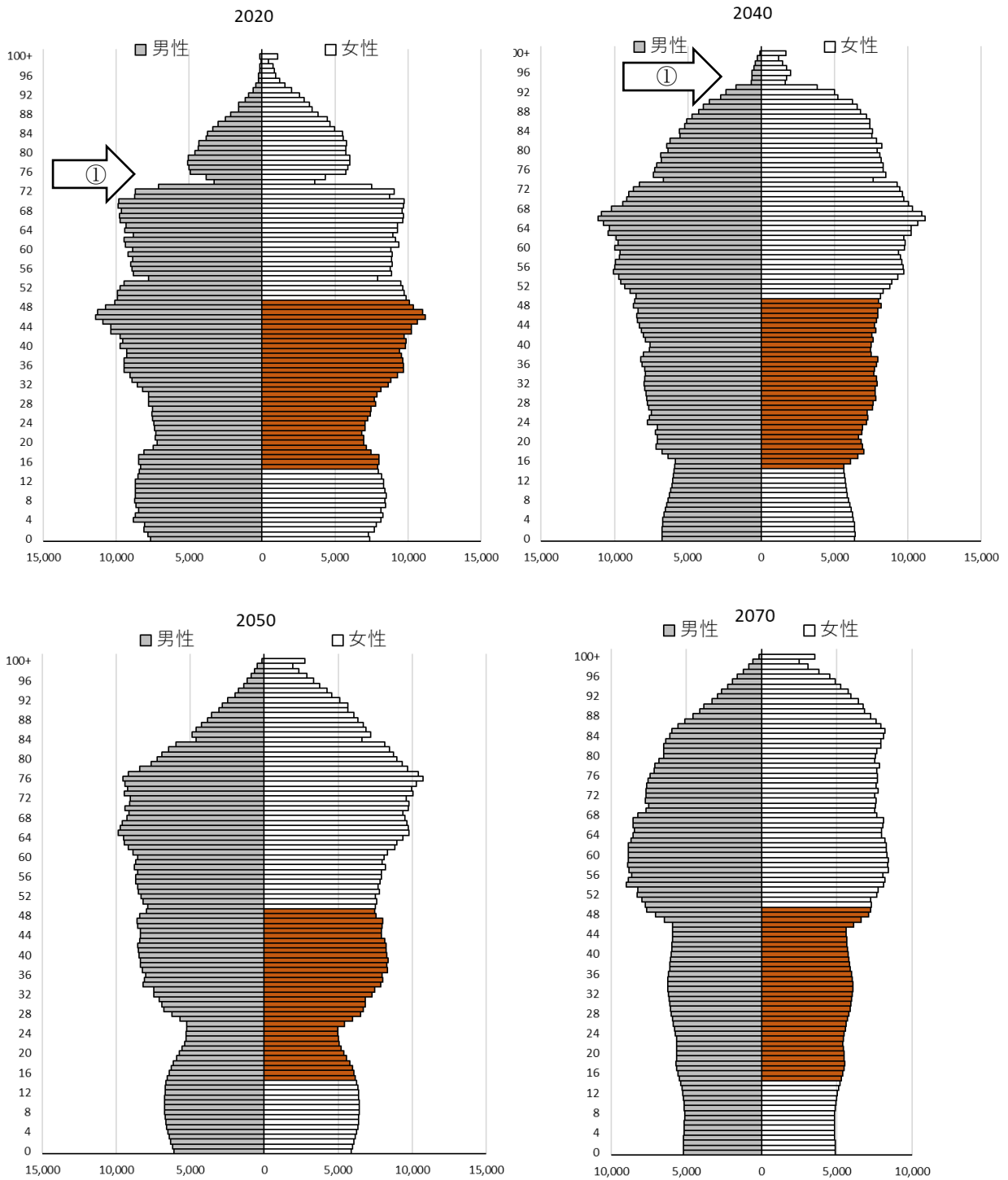


図 2 2020 年実績と、2040、2050、2070 の人口ピラミッド  
 (着色部分は各歳別 15～49 歳女性人口)



人口ピラミッドの各歳別 15～49 歳女性人口はその年の出生数(0 歳人口)を決める女性人口規模である。2020 年と 2040 年では、15～49 歳女性人口は減少しているが、出生数の多い 20～30 歳代は 2040 年のほうが形状としては多い。15～49 歳女性人口は出生数の影響が出始める 2040 年頃まではケース別推計の差は小さいが、それ以降は差が拡大していく。出生数は 2025 年に 11,603 人と復帰後最小となるがその後は増加が見込まれる。ただし、低位推計では、2029 年に 1 万人を割り、2032 年まで減少を続ける。

図 3 想定ケース別 15-49 歳女性人口の推移

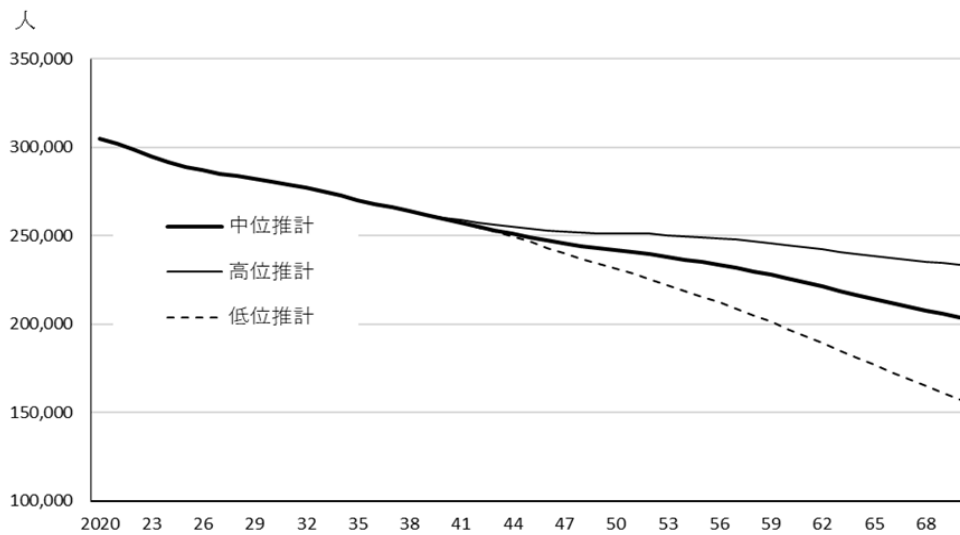


図 4 想定ケース別出生数(ゼロ歳人口)の推移

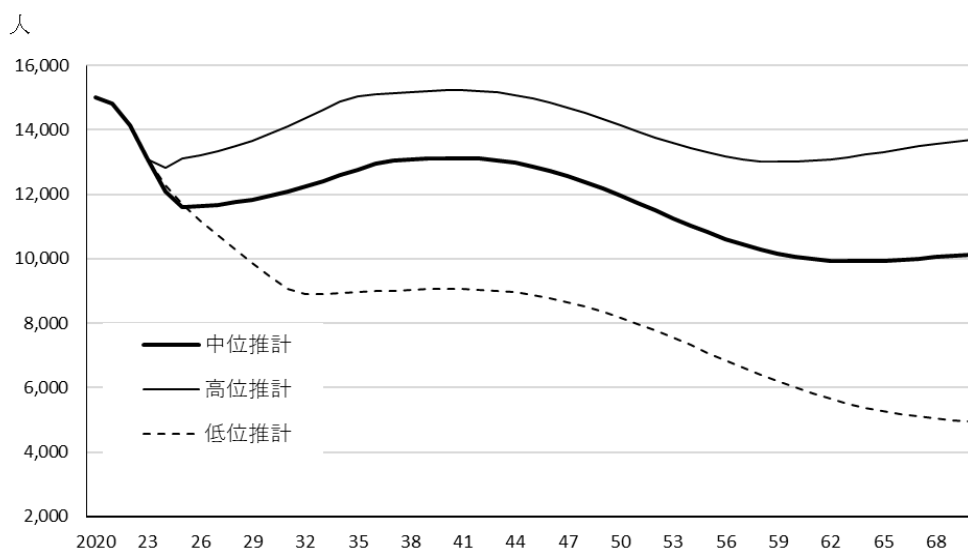


表 1 沖縄県のケース別将来予測結果表①

		2020	2025	2030	2035	2040	2045
中位推計	総人口	1,467,480	1,465,825	1,461,388	1,453,608	1,444,297	1,430,695
	15-49歳女性人口	304,971	288,879	280,322	270,090	259,503	249,239
	対総人口比(%)	20.78	19.71	19.18	18.58	17.97	17.42
	出生数	15,006	11,603	11,960	12,771	13,124	12,867
	対総人口比(%)	1.02	0.79	0.82	0.88	0.91	0.90
低位推計	総人口	1,467,480	1,465,935	1,454,173	1,429,016	1,399,492	1,365,833
	15-49歳女性人口	304,971	289,106	280,643	270,534	260,142	246,767
	対総人口比(%)	20.78	19.72	19.30	18.93	18.59	18.07
	出生数	15,006	11,719	9,472	8,970	9,076	8,893
	対総人口比(%)	1.02	0.80	0.65	0.63	0.65	0.65
高位推計	総人口	1,467,480	1,466,535	1,466,248	1,463,752	1,459,622	1,451,045
	15-49歳女性人口	304,971	288,879	280,322	270,090	260,213	253,977
	対総人口比(%)	15,006	12,313	12,870	13,918	14,150	13,892
	出生数	15,006	12,313	12,870	13,918	14,150	13,892
	対総人口比(%)	1.02	0.84	0.88	0.95	0.97	0.96
		2050	2055	2060	2065	2070	
中位推計	総人口	1,407,611	1,375,856	1,337,979	1,296,624	1,254,838	
	15-49歳女性人口	241,721	234,957	225,683	214,412	203,798	
	対総人口比(%)	17.17	17.08	16.87	16.54	16.24	
	出生数	11,960	10,820	10,058	9,942	10,114	
	対総人口比(%)	0.85	0.79	0.75	0.77	0.81	
低位推計	総人口	1,324,346	1,275,910	1,220,453	1,158,153	1,091,811	
	15-49歳女性人口	231,931	216,275	198,022	177,662	158,335	
	対総人口比(%)	17.51	16.95	16.23	15.34	14.50	
	出生数	8,195	7,108	6,018	5,289	4,977	
	対総人口比(%)	0.62	0.56	0.49	0.46	0.46	
高位推計	総人口	1,432,703	1,406,079	1,374,508	1,340,827	1,307,566	
	15-49歳女性人口	251,263	249,183	244,764	238,616	233,610	
	対総人口比(%)	13,015	12,003	11,469	11,570	11,850	
	出生数	13,015	12,003	11,469	11,570	11,850	
	対総人口比(%)	0.91	0.85	0.83	0.86	0.91	

表 2 沖縄県のケース別将来予測結果表②

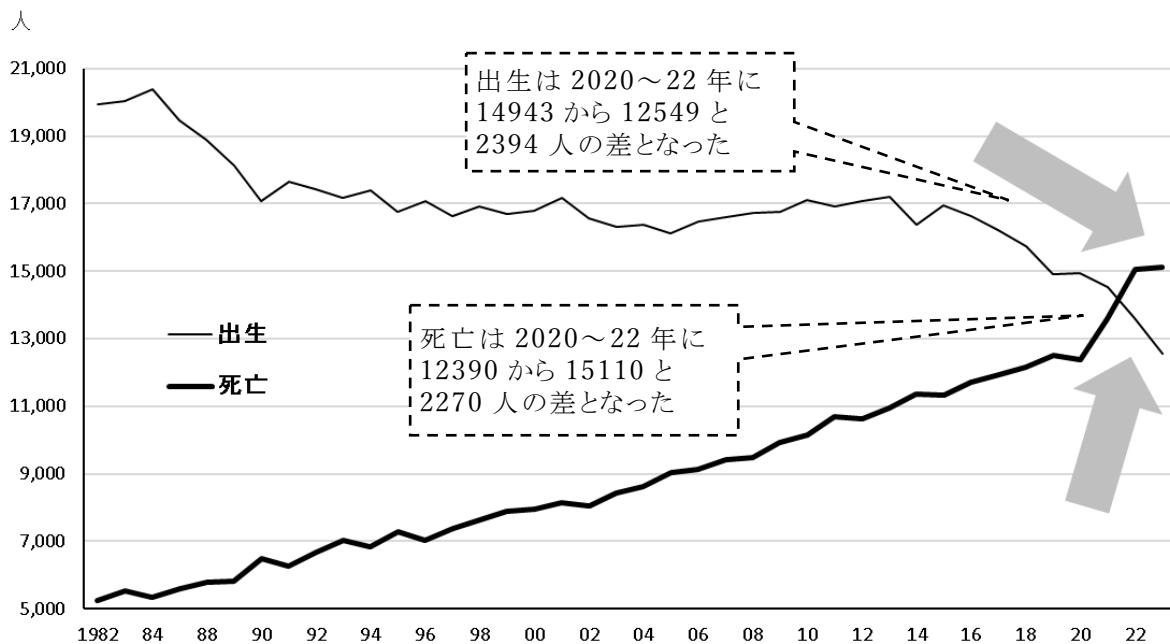
		2020	2025	2030	2035	2040	2045
中位推計	総人口	1,467,480	1,465,825	1,461,388	1,453,608	1,444,297	1,430,695
	0-14歳人口(人)	248,060	229,283	203,381	186,910	186,626	193,001
	15-64歳人口(人)	888,367	872,180	869,237	855,328	814,823	776,277
	65-74歳人口(人)	172,488	179,812	171,186	173,591	193,055	200,636
	75歳以上人口(人)	158,564	184,550	217,584	237,778	249,792	260,781
	指数(2020=100)	100.00	99.89	99.58	99.05	98.42	97.49
低位推計	総人口	1,467,480	1,465,935	1,454,173	1,429,016	1,399,492	1,365,833
	0-14歳人口(人)	248,060	229,689	196,500	162,700	141,890	135,342
	15-64歳人口(人)	888,367	872,340	869,545	855,827	815,676	769,641
	65-74歳人口(人)	172,488	179,849	171,247	173,686	193,132	200,636
	75歳以上人口(人)	158,564	184,057	216,882	236,803	248,793	260,214
	指数(2020=100)	100.00	99.89	99.09	97.38	95.37	93.07
高位推計	総人口	1,467,480	1,466,535	1,466,248	1,463,752	1,459,622	1,451,045
	0-14歳人口(人)	248,060	229,993	208,241	197,054	201,242	208,613
	15-64歳人口(人)	888,367	872,180	869,237	855,328	815,533	781,015
	65-74歳人口(人)	172,488	179,812	171,186	173,591	193,055	200,636
	75歳以上人口(人)	158,564	184,550	217,584	237,778	249,792	260,781
	指数(2020=100)	100.00	99.94	99.92	99.75	99.46	98.88
		2050	2055	2060	2065	2070	
中位推計	総人口	1,407,611	1,375,856	1,337,979	1,296,624	1,254,838	
	0-14歳人口(人)	192,533	183,568	170,012	157,945	151,733	
	15-64歳人口(人)	743,865	721,917	704,896	688,049	663,670	
	65-74歳人口(人)	190,955	180,629	167,413	158,244	157,010	
	75歳以上人口(人)	280,258	289,743	295,658	292,386	282,426	
	指数(2020=100)	95.92	93.76	91.18	88.36	85.51	
低位推計	総人口	1,324,346	1,275,910	1,220,453	1,158,153	1,091,811	
	0-14歳人口(人)	133,083	125,645	112,767	97,881	85,449	
	15-64歳人口(人)	721,532	681,372	646,102	610,983	568,771	
	65-74歳人口(人)	191,098	180,789	167,607	158,431	157,281	
	75歳以上人口(人)	278,634	288,105	293,976	290,858	280,311	
	指数(2020=100)	90.25	86.95	83.17	78.92	74.40	
高位推計	総人口	1,432,703	1,406,079	1,374,508	1,340,827	1,307,566	
	0-14歳人口(人)	208,083	199,566	187,460	177,944	174,649	
	15-64歳人口(人)	753,407	736,142	723,977	712,253	693,481	
	65-74歳人口(人)	190,955	180,629	167,413	158,244	157,010	
	75歳以上人口(人)	280,258	289,743	295,658	292,386	282,426	
	指数(2020=100)	97.63	95.82	93.66	91.37	89.10	

※予測結果の数表は当財団の Web サイトにて公開しています。

## ●沖縄県におけるコロナ禍期間後の人口現象

令和2年国勢調査は同年10月1日の人口を対象としている。国勢調査は5年おきに実施されるため、その間の期間は住民基本台帳人口に基づく推計人口を補正したものになる。そのため推計人口は国勢調査実施後に補正されることになる。

図5 沖縄県における出生数と死亡数の推移



資料：沖縄県「令和6年人口移動報告年報」

図5は沖縄県における出生数と死亡数の推移である。死亡数はコロナ期間に急激に増加し、2022年に頭打ちになっている。出生数もこの時期に減少しているが、この2変数についてはコロナ期における特殊要因を考慮しなければならない。予測は直近の変数の動きに影響されるため、予測結果には死亡増・出生減が反映される可能性がある。

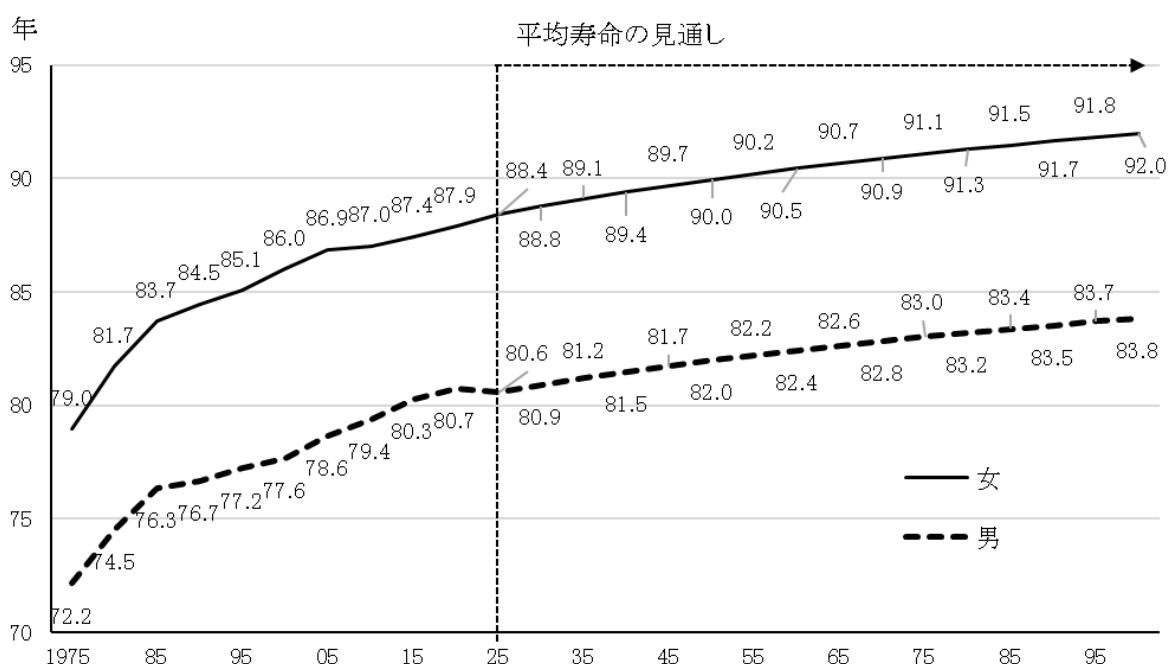
各歳別死亡数の把握は生命表作成のための基礎資料となっており、厚生労働省により作成されている。生命表は現在の死亡状況から将来の生存期間を計算するもので封鎖人口に基づいて平均余命や平均寿命を算出するための基本指標である。沖縄県の平均余命と平均寿命は2022年12月公表の厚生労働省「令和2年都道府県別生命表」に掲載されている。それによると2020年の沖縄県の平均寿命は男性が全国の81.49歳に対して80.73歳(都道府県別順位43位)、女性が全国の87.60歳に対して87.88歳(都道府県別順位16位)となっている。なお男性の75歳以上の平均余命は12.93歳(都道府県別順位2位)となっている。女性は65歳



以上の平均余命が 25.44 歳(都道府県別順位 1 位)、75 歳以上の平均余命が 16.85 歳(都道府県別順位 1 位)となっている。

沖縄県の男女別平均寿命の推移からトレンドを延長することで将来推計値を試算した。図 6 はその結果である。コロナ禍の影響もあり男性の平均寿命が 2020~25 年間で低下するが、それ以降は上昇トレンドとなっている。なお、この試算値では女性の平均寿命が 2055 年に 90.21 歳と、90 歳を超える見通しとなっている。

図 6 沖縄県における男女別平均寿命の推移とトレンド延長推計



資料:厚生労働省「都道府県別生命表」

15~49 歳の女性の出生数を合計特殊出生率(TFR)といい、1 人の女性が生涯に何人の子供を出産するかの指標とみてよい。図 7 に示したように出生数は足元では減少傾向を示すが、沖縄県の TFR は全国 1 位の高さを維持している。足元の 2023 年の沖縄県の TFR は 1.60 なのに対し、全国は 1.20 となっている。長期的にみると沖縄県は 1991 年に 2.02 を記録して以降、2 を下回る水準で推移している。全国の TFR が 2 を下回るようになるのは 1974 年に 2.05 を記録して以降である。

ただし、全国では 2005 年から 2015 年にかけて、沖縄でも同じ時期に、TFR が上昇傾向で推移している。それ以降は低下していくが、コロナ禍の 2020 年以降はこれまでにない勢いで下がっていることがわかる。なお、将来推計にあたっては、直近 5 年間の 2019~23 年の平均値に 2036 年まで戻ると仮定している(これを中位推計とした)。低位推計は 2031 年に現在の全国値にまで下がり全国並みとなり、高位推

計では 2034 年に 2.016 になると仮定した。これは社人研予測の高位推計と中位推計の比率を単純に沖縄県のケースに適用したものである。

図 7 沖縄県と全国の合計特殊出生率の推移

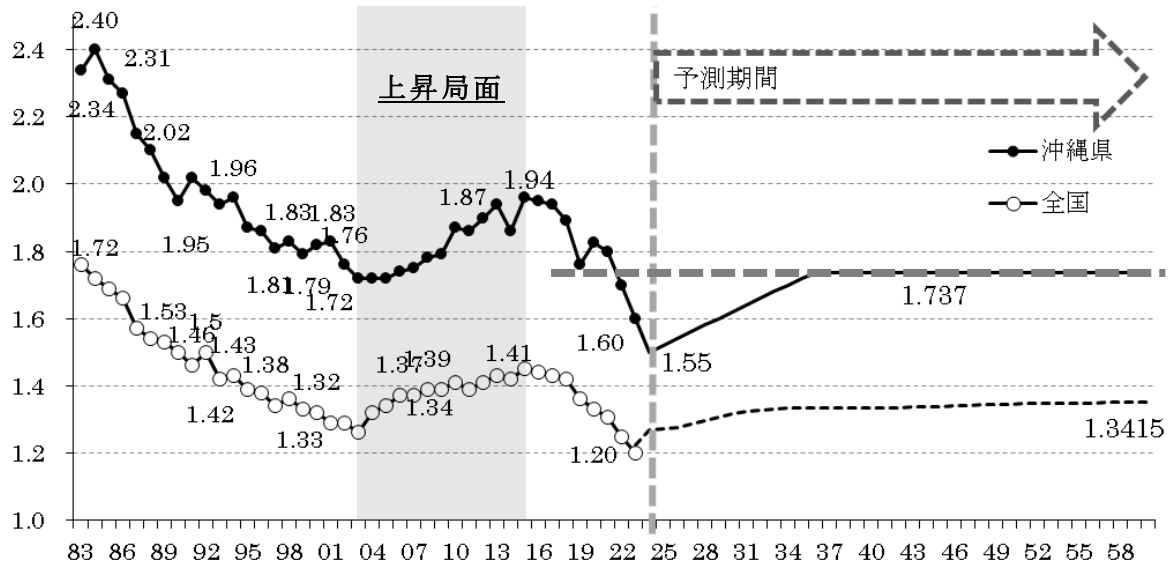
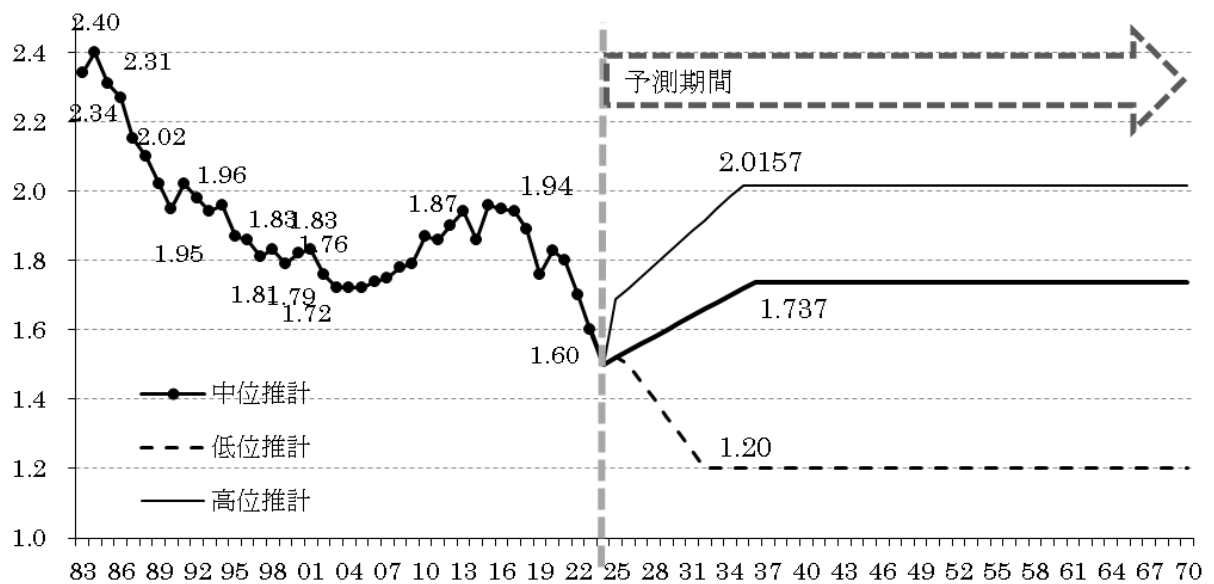


図 8 合計特殊出生率のケース別想定値



※社人研による全国のケース別想定値は本報告書最終頁に掲載しています。

## ●2025 年以降の沖縄県人口の見通し

2024 年の 11 月時点で将来の人口を予測するにあたっては、国勢調査の確報値が 2020 年、完全生命表も 2020 年、出生数と死亡数については 2023 年、沖縄県総人口については 2024(10 月 1 日時点)といった、予測作業時点で得られる統計指標に基づいて将来予測をおこなっている。そのため 2021~24 年までの各歳別人口は、2015~20 年の国勢調査の実績値を総人口に一致するように調整して延長推計している。なお、2021~24 年までの沖縄県総人口は、次の国勢調査時点にはさかのぼって改定されるので、注意が必要である。

以上より、2025 年以降の沖縄県の総人口を3つのケース想定によって予測し、その結果を図 4 に示した。足元のコロナ禍の影響があるため、予測の出発時点は直前の人口減少に左右され、伸びが弱いものとなっている。

中位推計と低位推計は 2025 年以降の人口は減少傾向で推移するが、高位推計は 2025~39 年まで増加し、2040 年から減少に転じる。ただし、低位推計に比べて中位推計は 2046 年頃までは緩やかな減少で、それ以降は減少率が高くなる。これは高位推計も同じで、15~49 歳女性の人口規模が縮小したことが影響している。

図 9 沖縄県の人口推移とケース別将来予測結果(2025 年以降)

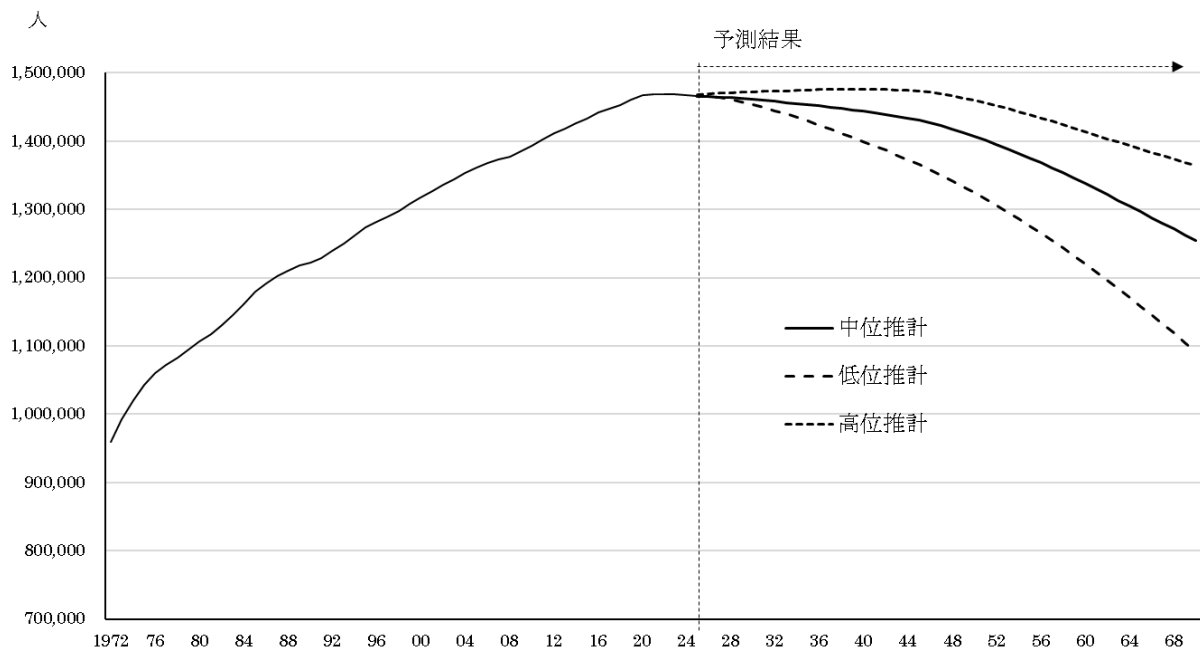


図 10 は中位推計結果による日本人人口のみの人口予測の結果を示している。総人口と日本人人口の差は外国人の人口に相当する。外国人の人口は増加傾向で推移し、2028年に3万人を突破し、2035年に4万人を超えるなど、増加傾向で推移していく。

図 10 男女計(総人口)と日本人人口、外国人等人口推移

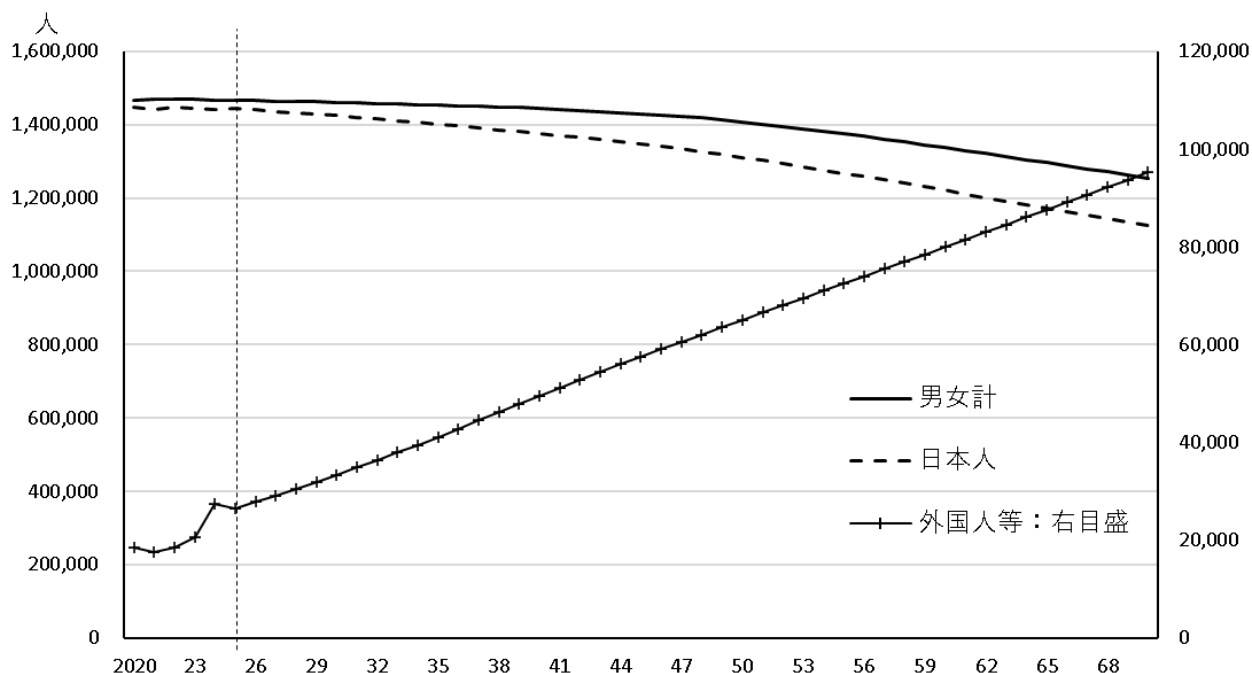
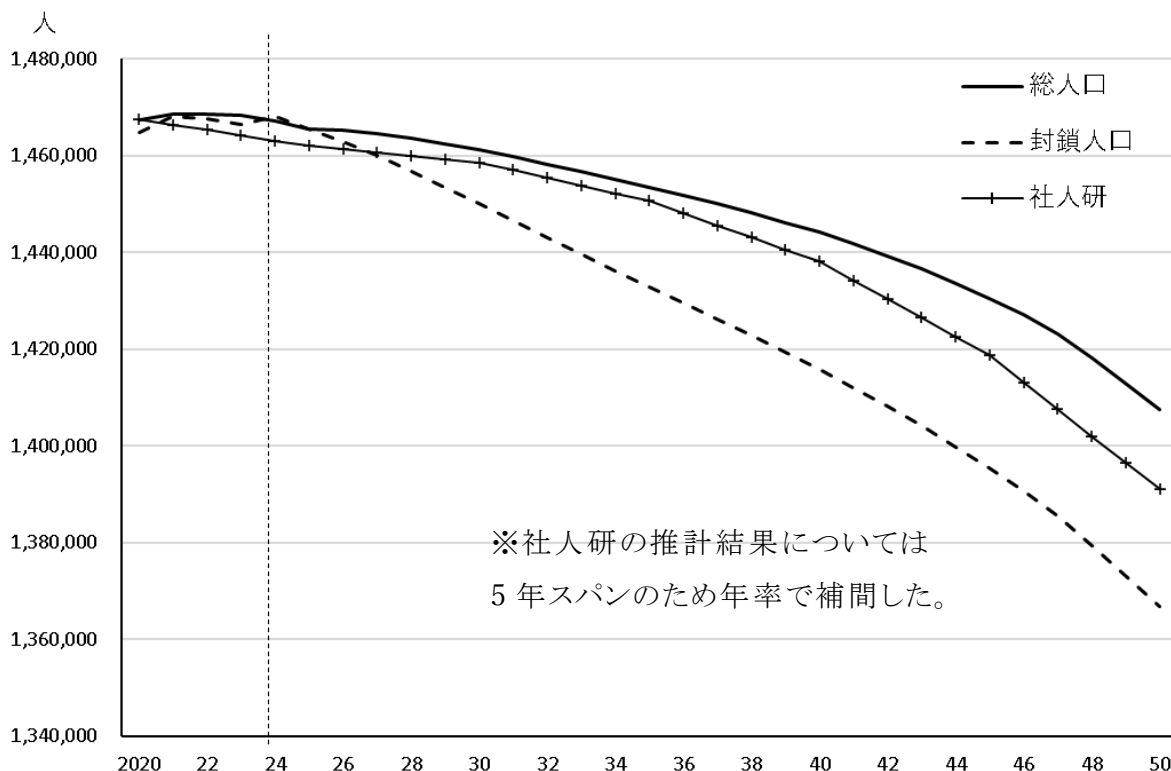


図 11 には封鎖人口の推計結果を計上している。封鎖人口とは、人口の社会増減がなく自然増減のみを仮定した人口である。出生数が安定的に推移しても、人口の高齢化に伴う高齢者層の増加により死亡者数の増加が続くため、人口減少は大きくなる。封鎖人口による人口変動は国立社会保障・人口問題研究所(以下、社人研)の直近の予測においても重視されており、人口の自然減下では海外からの流入人口も検討すべき政策項目となってくる。

なお、社人研による地域別予測は5年スパン(5歳階級別)となっているため5年毎に年平均成長率を算出し、これによって間の年を補間した。

図 11 男女計(総人口)と封鎖人口、社人研による推計結果

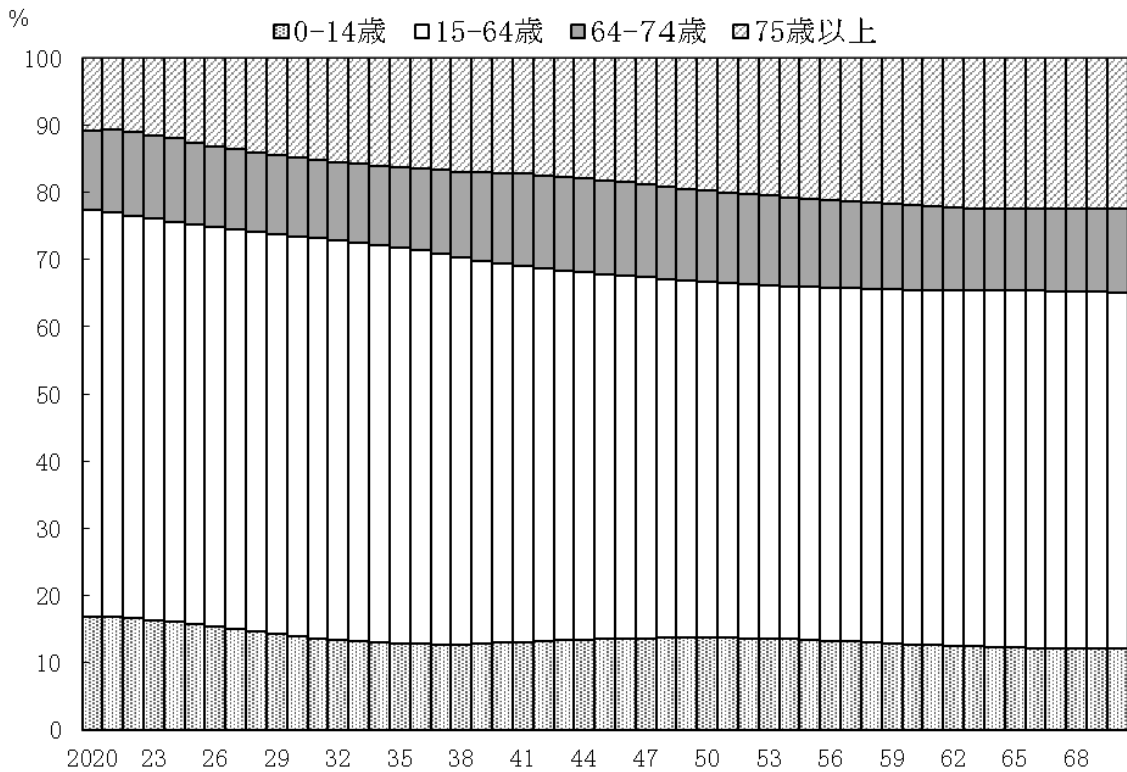


人口構造については図 12 に人口 4 区分の構成比(人口係数)の推移を示している。顕著な特徴は 64~74 歳の前期高齢者が安定しているのに対し、75 歳以上の後期高齢者が増加している点である。また、0~14 歳人口は、15~49 歳女性の女性人口の規模に応じて変動している。

0~14 歳人口は年少人口であるが、2020 年には 16.9%となっている。この比率は徐々に減少し、2037 年に 12.7%まで落ち込むものの、その後は 2048 年の 13.7%まで微増で推移し、その後再び減少し、2070 年には 12.1%になる。生産年齢人口である 15~64 歳人口は、2020 年に 60.5%であるが、2053 年に 52.5 になり、それ以降は、ほぼこの水準を保ち安定的に推移し、2070 年には 53.0%となる。65 歳以上の老年人口は 65~74 歳と 75 歳以上に分けている。2020 年の 11.8%で、2038 年に 12.7%となるが、概ね 12~14%の水準で推移し、2070 年は 12.9%になる。65~74 歳人口は 2020 年には 10.8%だが、増加傾向で推移し、2051 年に 20.1%になり、2070 年は 22.3%となる。

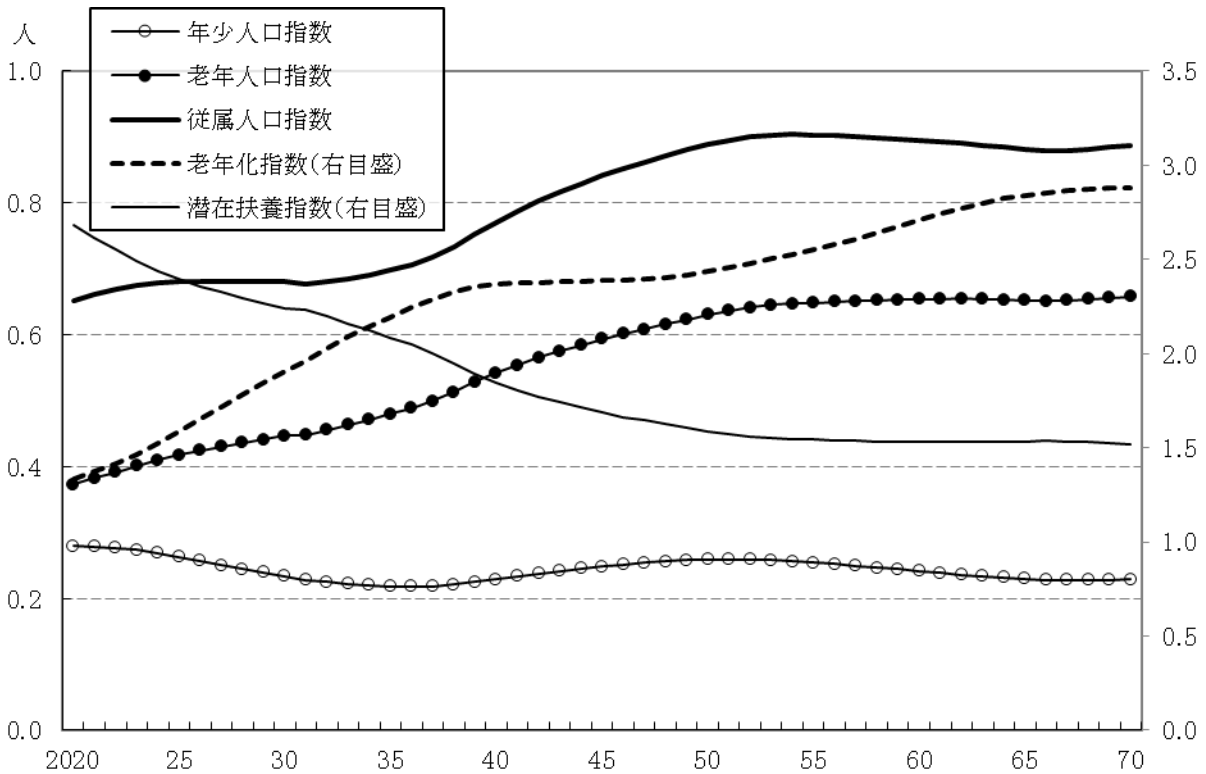
人口構造は以上のように推移するものと見積もられる。

図 12 人口 4 区分の人口構成比の推移



以上の人口構造に基づき、主要な人口構造指数を算出し図 9 に計上した。従属人口指数が 2050 年を過ぎたあたりから安定化することが予測されている。年少人口指数は、2036 年以降、TFR が 1.732 で推移した結果を示しているが、この値より上振れするか下振れするかで結果が変わってくることを示唆している。これについては図 5 に示したケース別人口予測の結果に表れている。また、平均寿命が一貫して延びているとはいえ、大きく延伸するわけではないので寿命延伸効果による人口増加は大きなものではなく、高齢化による死亡者数の増加が人口の自然減となって影響を与えることになる。これに対して、例えば、社会移動の結果として、家族単位で県内に流入する青壮年層人口と、これに加えて県内の 15～49 歳女性の人口規模が、人口増加に寄与することが示唆されている。

図 13 主要人口構造指数等の推移



最後に示した図 13 は、2020、2040、2050、2070 年の人口ピラミッドである。1945 年の出生者は 2024 年現在で 79 歳だが、2020 年時点では 75 歳である。沖縄県の人口ピラミッドはその年齢層に深い沈み込みがあり、これが沖縄戦の痕跡として戦後の沖縄の人口構造に大きな影響を与え続けてきたのである(図 14 中の①)。復帰後、沖縄は若年人口が多いといわれ続けてきたのは戦争による人口構造のゆがみの結果といえる。この人口構造のゆがみは 2040 年の人口ピラミッドでは消失しており、同時に沖縄戦の痕跡はほぼ見られなくなることになる。

人口ピラミッドには人口の多い年齢とそうでない層に分かれるが、その要因ももとをただせば戦争による影響といえる。戦後のベビーブームにあたる 1947～49 年の出生者は、2024 年現在は 75～77 歳で、2020 年時点で 71～73 歳にあたる。この年齢層は突出した人口となっているため、この年齢層の人口構造への影響は大きく、また、彼らの親世代と経済環境や生活環境が異なるため、人生観や結婚観なども上の世代とは異なるものとなり、その後の人口現象を左右したことがわかる。

参考として、表 3～5 にケース別の主要人口指標の一覧表を計上した。

図 14 2020 年実績と、2040、2050、2070 の人口ピラミッド

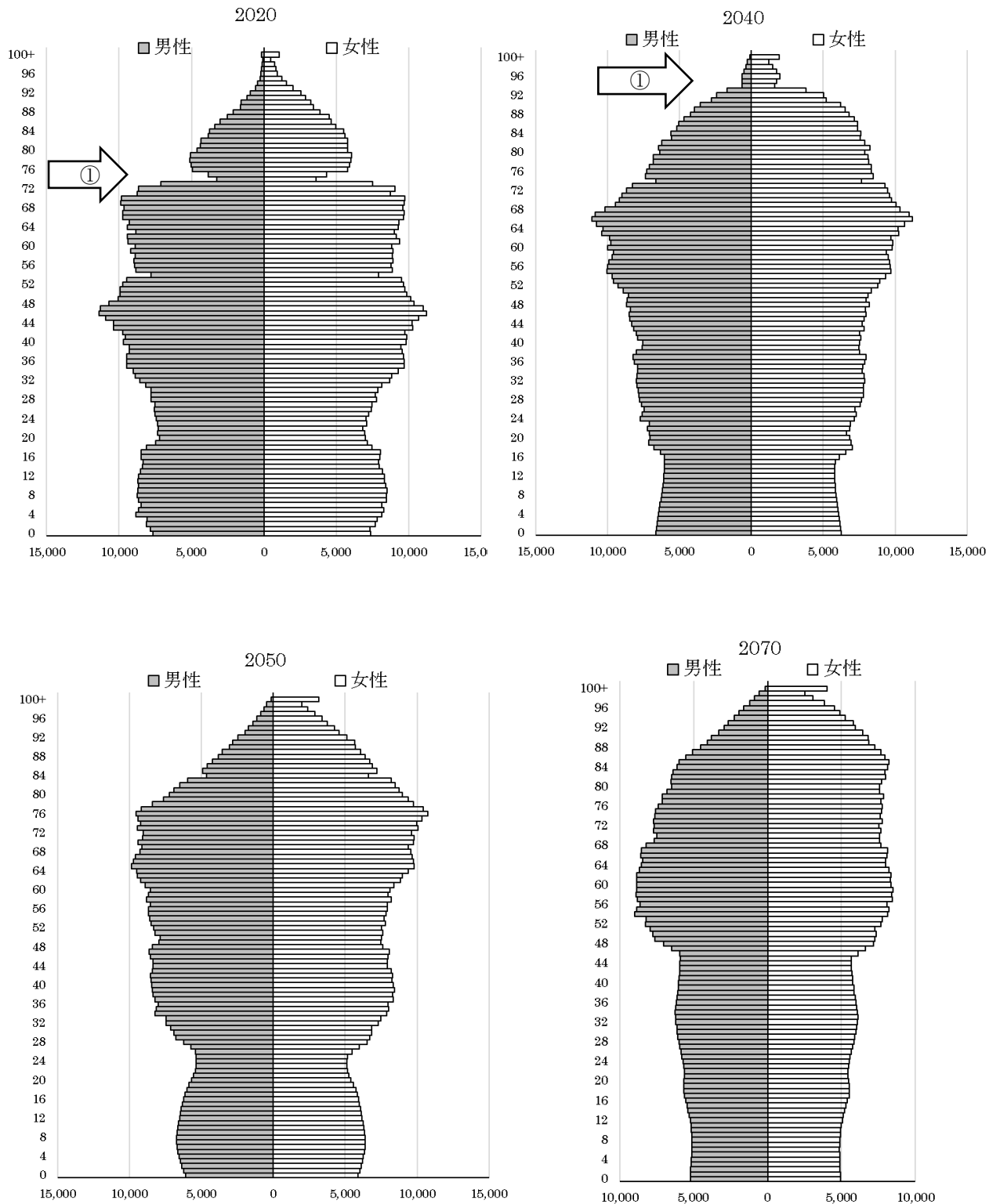




表 3 中位推計の人口予測結果主要指標の一覧

	2020	2030	2040	2050	2060	2070
総人口(人)	1,467,480	1,461,388	1,444,297	1,407,611	1,337,979	1,254,838
男性(人)	722,812	717,969	707,034	686,493	651,902	611,345
女性(人)	744,668	743,419	737,263	721,117	686,077	643,492
日本人人口(人)	1,447,245	1,424,478	1,376,103	1,310,594	1,220,927	1,123,714
封鎖人口(人)	1,447,245	1,428,197	1,392,143	1,341,468	1,269,791	1,197,412
年齢区分						
0-14歳人口(人)	248,060	203,381	186,626	192,533	170,012	151,733
15-64歳人口(人)	888,367	869,237	814,823	743,865	704,896	663,670
65-74歳人口(人)	172,488	171,186	193,055	190,955	167,413	157,010
75歳以上人口(人)	158,564	217,584	249,792	280,258	295,658	282,426
構造係数						
年少人口指数	0.279	0.234	0.229	0.259	0.241	0.229
老年人口指数	0.373	0.447	0.543	0.633	0.657	0.662
潜在扶養指数	2.683	2.236	1.840	1.579	1.522	1.510
従属人口指数	0.652	0.681	0.773	0.892	0.898	0.891
老年化指数	1.335	1.912	2.373	2.447	2.724	2.896
人口指数(2020=100)	100	99.58	98.42	95.92	91.18	85.51
※ 全国人口(2020=100)	100	95.22	89.45	82.99	76.22	68.96

※全国人口は、社人研による中位推計を用いた。

表 4 低位推計の人口予測結果主要指標の一覧

	2020	2030	2040	2050	2060	2070
総人口(人)	1,467,480	1,454,173	1,399,492	1,324,346	1,220,453	1,091,811
男性(人)	722,812	713,482	682,960	642,924	590,818	526,902
女性(人)	744,668	740,690	716,531	681,422	629,635	564,910
年齢区分						
0-14歳人口(人)	248,060	196,500	141,890	133,083	112,767	85,449
15-64歳人口(人)	888,367	869,545	815,676	721,532	646,102	568,771
65-74歳人口(人)	172,488	171,247	193,132	191,098	167,607	157,281
75歳以上人口(人)	158,564	216,882	248,793	278,634	293,976	280,311
構造係数						
年少人口指数	0.279	0.226	0.174	0.184	0.175	0.150
老年人口指数	0.373	0.446	0.542	0.651	0.714	0.769
潜在扶養指数	2.683	2.240	1.846	1.536	1.400	1.300
従属人口指数	0.652	0.672	0.716	0.835	0.889	0.920
老年化指数	1.335	1.975	3.115	3.530	4.093	5.121
人口指数(2020=100)	100	99.09	95.37	90.25	83.17	74.40
※ 全国人口(2020=100)	100	93.70	86.58	78.94	70.79	62.09

※全国人口は、社人研による低位推計を用いた。

表 5 高位推計の人口予測結果主要指標の一覧

	2020	2030	2040	2050	2060	2070
総人口(人)	1,467,480	1,466,248	1,459,622	1,432,703	1,374,508	1,307,566
男性(人)	722,812	717,969	707,034	686,493	651,902	611,345
女性(人)	744,668	748,280	752,588	746,210	722,606	696,221
年齢区分						
0-14歳人口(人)	248,060	208,241	201,242	208,083	187,460	174,649
15-64歳人口(人)	888,367	869,237	815,533	753,407	723,977	693,481
65-74歳人口(人)	172,488	171,186	193,055	190,955	167,413	157,010
75歳以上人口(人)	158,564	217,584	249,792	280,258	295,658	282,426
構造係数						
年少人口指数	0.279	0.240	0.247	0.276	0.259	0.252
老年人口指数	0.373	0.447	0.543	0.625	0.640	0.634
潜在扶養指数	2.683	2.236	1.842	1.599	1.563	1.578
従属人口指数	0.652	0.687	0.790	0.902	0.899	0.886
老年化指数	1.335	1.867	2.201	2.265	2.470	2.516
人口指数(2020=100)	100	99.92	99.46	97.63	93.66	89.10
※ 全国人口(2020=100)	100	96.79	92.54	87.50	82.48	77.24

※全国人口は、社人研による高位推計を用いた。

《参考資料》

・人口構造指数の計算式

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{年少人口(0~14歳)}}{\text{生産年齢人口(15~64歳)}}$$

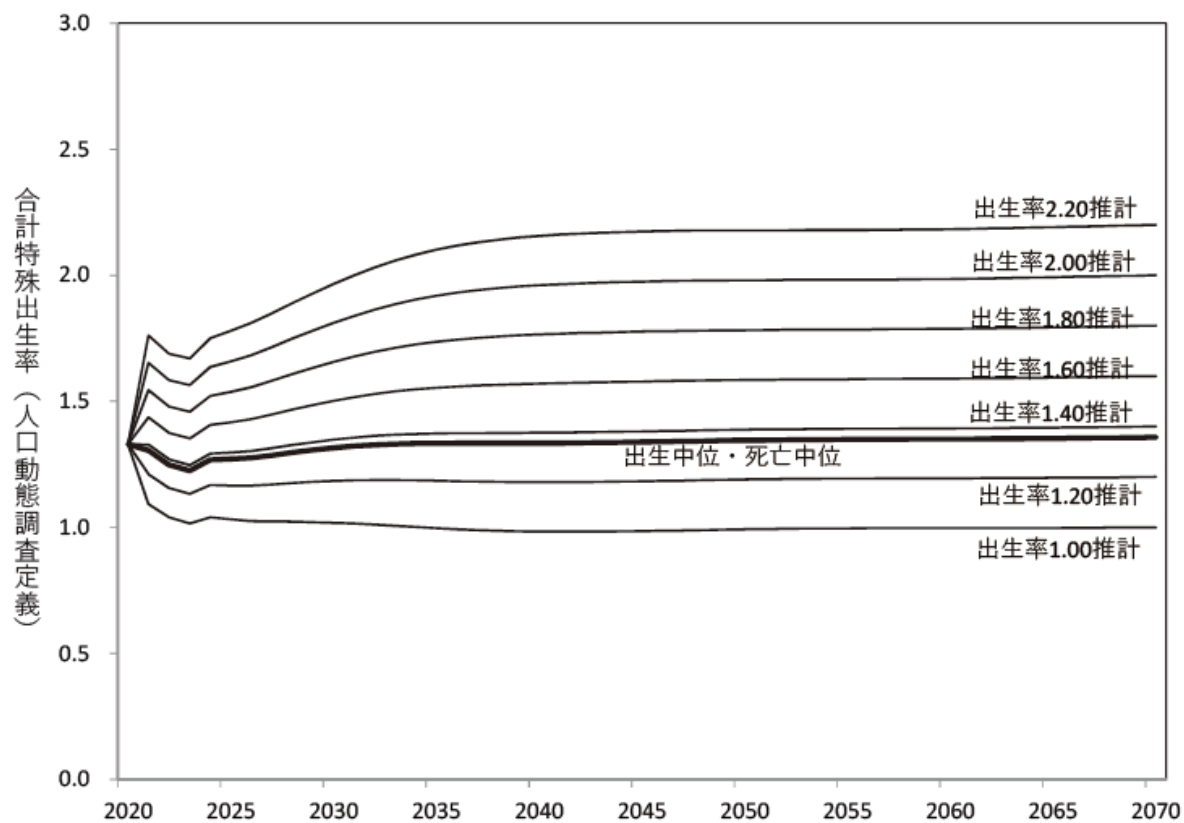
$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年人口(65歳以上)}}{\text{生産年齢人口(15~64歳)}}$$

$$\text{潜在扶養指数} = \frac{\text{生産年齢人口(15~64歳)}}{\text{老年人口(65歳以上)}}$$

$$\text{従属人口指数} = \frac{\text{年少人口(0~4歳)} + \text{老年人口(65歳以上)}}{\text{生産年齢人口(15~64歳)}}$$

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口(65歳以上)}}{\text{年少人口(0~14歳)}}$$

参考図 全国人口の合計特殊出生率の仮定値



資料:国立社会保障・人口問題研究所『日本の将来推計人口—令和 3(2021)～52(2070)年—』2023(令和 5)年 8 月 31 日